



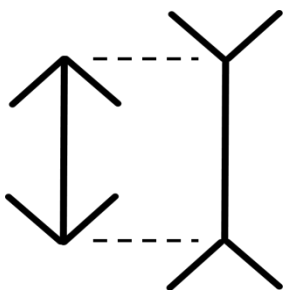
心理学専修課程 パンフレット

もくじ

【心理学って、なあに？】	…p1 - p3
【他の心理学系学科との違い】	…p4
【心理学研究室の様子】	…p5
【研究室・ゼミ】	…p6 - p13
【時間割・授業】	…p14 - p15
【Q & A コーナー】	…p16 - p18
【興味を持ったら……】	…p19
【From 心理学専修3、4年生】	…p20

心理学って、なあに？

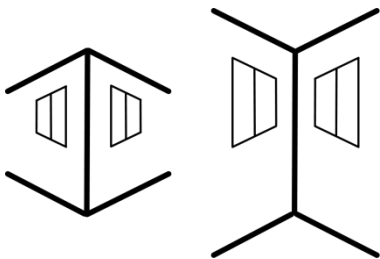
下の図形、左右どちらの垂直線が長く見える？



おそらく、右の垂直線のほうが長く見たのではないのでしょうか。でも、実は2本とも同じ長さなんです（図の点線を見てください！）これはミュラー・リヤー錯視とよばれる錯視図形です。

「うわあ！スゴい！目の錯覚ってふっしぎー！」

……で終わらないのが、私たちの勉強している心理学の特徴です。「なぜ錯覚が起きるの？」「どんなメリットが？」と、さらに深く考えます。下の図を見てみましょう（建物や部屋的一部分だと思ってください）。「出っ張っている」「凹んでいる」の中にミュラー・リヤー図形が隠れていますよね。だから、この錯覚は「立体的な形を理解



するために重要だ！」と考えられるんです。でも、この説明にも反論があって、この錯視が生じる本当の理由はまだ分かっていません。



心理学から学ぶ記憶のコツ

さて、もうひとつ具体例をご紹介します。

皆さんはマジカルナンバー 7 ± 2という言葉聞いたことがありますか？ これは「短期記憶において人間が記憶できる容量は7個まで」という法則です。± 2という数字が入っているのは個々人によって記憶容量に差があることを反映したもの。

ここまでは東大生の皆さんならご存知の方も多はず。

しかし心理学はここからさらに踏み込んで考えます。

「人間が記憶できる容量は7個まで」と言いましたが、この7「個」とは何を指すのでしょうか？ 文字数？ それとも別のまとまり？ 心理学ではこの単位を「チャンク」という概念で説明しています。

チャンクとは、簡単に言えば「情報のまとまり」のこと。例えば

「298」という数字の羅列を記憶する際、「2 9 8」と数字を1つずつ記憶すれば3チャンクとなりますが、「にくや（肉屋）」と当て字をしてしまえば1チャンクとなります。7というチャンクを増やすことは難しいのですが、このように1チャンク当たりの内容を増やすことで記憶容量が増すというわけです。皆さんも年号や電話番号を記憶するとき、語呂合わせで覚えようとした経験はありませんか？こんな身近なところでも心理学が活かされているんですね！



心理学って？

心理学と聞いて皆さんが真っ先に思い浮かべたのは、心理テストやカウンセリングだったのではないかと思います。でも、これらは臨床心理学という心理学の一分野（応用的な側面）に過ぎません。

一方で、「見る」「聞く」「覚える」「注意を払う」……といったことも全て、立派なこころの働きです。前のページで紹介した「ミューラー・リヤー錯視」「マジカルナンバー 7 ± 2 」でも、「見る」「覚える」こころの働きの面白さを感じていただけたと思います。

私たちの勉強している心理学は、これらの基本的なこころの働きを通して「こころとは何か？」を考える、**基礎心理学・実験心理学**とよばれる分野です。皆さんが「脳科学」に抱くイメージに近いかもしれません。

どんなことやってるの？

実験心理学と名がつくだけあって、とにかく実験（自分が実験に参加したり、実験を実施したり）をいっぱいやって、人間の脳やこころの働きを探っていきます。研究対象こそ「ふわふわ」していますが、とことん科学的・客観的なアプローチを心がけています。（文学部ですが）理・工学部に近いかもしれません。

心理学研究室 HP <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/psy/>



他の心理学系学科との違い

(1) 社会心理学専修（文学部）と心理学専修

社会心理学専修では、対人関係など、社会のなかでの人のこころの働きについて研究しています。心理学専修の方が、個人内のこころの働きに焦点を当てているといえるかもしれません。専修内定後の4学期は、心理学・社会心理学の内定者が合同で実験演習の授業を受けます。

(2) 教育心理学コース（教育学部）と心理学専修

教育心理学コースでは、カウンセリングなどの臨床心理学（心理学をどう役立てるか？）が中心です。臨床系を期待して心理学研究室に入っては「こんなはずじゃなかった！」となる人がたまにいます。専門を選ぶ時に間違えると取り返しがつかないので、しっかり情報を集めることをオススメします。

(3) 認知行動科学コース（教養学部）と心理学専修

理系のイメージが強い**認知行動科学コース**ですが、心理学系の4学科のうち最も幅広い分野を扱っている学科でもあります。そのため、一部の研究内容は心理学専修にも非常に近く、心理学研究室と共同での研究も数多く行われています。その他、動物と人間のこころの働きを比較する研究も行われています。



心理学研究室の様子

心理学研究室（事務室）

レポート提出、部屋の鍵・PC の貸し出しなどで
お世話になる部屋です。

入口横の掲示板上には、休講やテスト日程などの
重要な連絡事項が貼り出されます。



学生控室

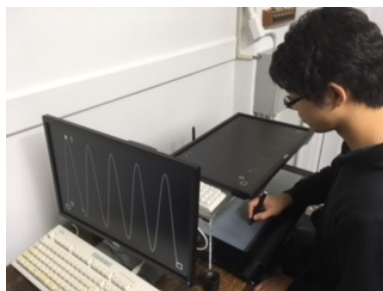


法文 2 号館地下にある、心理学専修
の学生が自由に使える部屋です。

自由に使える PC が 4 台あり、
プリンタも使えるのが魅力。

無線 LAN、冷暖房も完備。

3 年生の実験演習の授業や 4 年
生の卒業研究では、実験ブースを
使用して実験を行います。写真は
今水研の実験室です。



研究室・ゼミ

心理学研究室には4名の教授・准教授がおり、同じ実験心理学でもそれぞれが異なった分野の研究をしています。とはいえ、実際に何をやっているのか1,2年生の皆さんにはわかりにくいかもしれません。そこで、各教員の研究内容やゼミでの活動についてご紹介します。

教員紹介

1. 今水研（今水寛教授・学習機構）
2. 村上研（村上郁也教授・知覚心理学）
3. 鈴木研（鈴木敦命准教授・実験心理学）
4. 浅野研（浅野倫子准教授・認知心理学）



1. 今水研

研究室・ゼミ紹介

今水研では、人がより良く生きるための知恵を生み出すことを目的として、認知学習や運動学習に関わる脳の仕組みを解明するとともに、学習や適応を支援する技術の開発を行っています。



最近のゼミでは、因果関係とベイズ推定、運動主体感と身体保持感、身体知覚と運動の制御・学習といったトピックに関連する論文の輪読・発表が行われています。なかなか文系で学ぶことのできない分野についてじっくり考えるため、非常に刺激的です。また、ゼミの受講生は、この分野を学ぶ上で避けては通れない数式にも果敢に挑戦し、活発な議論が行われています。



ちょこっと研究紹介

小脳は学習の初期段階のみに関わる、という従来の考え方を大きく覆した研究。駒場キャンパスにも導入されている「MRI」という脳活動測定機器を利用して、小脳の内部モデルの活動について初めて検証しました。この論文は、科学の世界で最も有名な学術誌である Nature 誌に掲載されました。

Imamizu, H., Miyauchi, S., Tamada, T., Sasaki, Y., Takino, R., Putz, B.,
Yoshioka, T., & Kawato, M. (2000)

Human cerebellar activity reflecting an acquired internal model of a new tool.

Nature, 403, 192-195.

doi : <https://doi.org/10.1038/35003194>

今水研究室 HP <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~imamizu/>



2. 村上研

研究室・ゼミ紹介

村上研の主要テーマは、視覚を中心とした知覚メカニズムの解明です。また近年は文部科学省の新学術領域研究「時間生成学」のもとで、物理的な時間と知覚的な時間の関係についても研究が進められてきています。



最近のゼミでは、『世界はありのままにみることができない -なぜ進化は私たちを真実から遠ざけたのか』（Donald D. Hoffman 著、高橋洋 訳）などを輪読しています。担当者が教科書および関連論文についてプレゼンテーションを行い、その後にディスカッションをしています。穏やかな雰囲気で発言しやすく、楽しくゼミに参加することができます。



ちょこっと研究紹介

ジター錯視という、「実際は動いていないのに、動いて見える」新しい錯視現象を発見・報告した研究。この錯視が生じる理由は、固視微動という気づかないほど小さな（でも、常に生じている）眼球の動きにあります。この論文も Nature 誌に掲載されました。ジター錯視のデモは、以下のサイトで公開されています。

(<http://www.kecl.ntt.co.jp/IllusionForum/v/visualJitter/ja/>)

Murakami, I. & Cavanagh, P. (1998)

A jitter after-effect reveals motion-based stabilization of vision.

Nature, 395, 798-801.

doi : <https://doi.org/10.1038/27435>

村上研究室 HP <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~ikuya/>



3. 鈴木研

研究室・ゼミ紹介

鈴木研では、主に対人認知とエイジングについて研究しています。私たちが人の心をどう判断しているのか、人の心は年齢とともにどう変わる（変わらない）のかを調べ、世代間交流・理解を促進するヒントを探っています。



最近のゼミでは、高次認知、社会的認知、感情といったトピックに関連する論文の輪読・発表を行っています。また、卒論生による卒業研究に関する発表も行っています。これらの発表では、こころを研究することの楽しさ・難しさに触れることを目標とし、人間の判断や行動の特徴、メカニズムに関して幅広い内容を扱います。



ちょこっと研究紹介

高齢者と若年者を参加者とする心理実験をおこない、人の信頼性を判断する際に顔の見た目と過去の行為から影響を受ける程度を比較した研究。高齢者は見た目で人を信頼し続ける傾向が若年者に比べて高いこと、つまり、過去に自分を幾度となく裏切った人であっても信頼できる顔であれば信頼しがちであることが示唆されました。朝日新聞や中日新聞などのメディアでも取り上げられた研究です。

Suzuki, A. (2016)

Persistent reliance on facial appearance among older adults
when judging someone's trustworthiness.

Journals of Gerontology Series B: Psychological Sciences and Social Sciences, 73,
573-583.

doi: <https://doi.org/10.1093/geronb/gbw034>

鈴木研究室 HP <https://sites.google.com/site/atsunobusuzukilab/home>



4. 浅野研

研究室・ゼミ紹介

浅野研では、目の前の物体や情景がどのように認識されているかという、高次認知処理についての研究を進めています。共感覚（文字に色がついて見える現象）などの多感覚統合や言語処理に関する研究も進めています。



浅野研究室は 2022 年度に立ち上がった、心理学専修課程で最も新しい研究室です。

最近のゼミでは、言語活動について認知処理という観点から学ぶため、『心理言語学を語る ことばへの科学的アプローチ』（Trevor Harley 著、川崎恵里子 監訳）を輪読・発表し、それをもとに議論を行っています。

浅野研究室 HP <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~asano>



時間割・授業

時間割例その1（Kさん・2019年度夏学期）

	月	火	水	木	金
1					
2	心理学 特殊講義	心理学統計	社会心理学 概論	心理学 特殊講義	電算機応用
3	哲学概論	心理学演習	情報 メディア論	死生学	心理学 実験演習
4		心理学 特殊講義	心理学 特殊講義		
5	美学芸術学 特殊講義	心理学概論	心理学 特殊講義		死生学 特殊講義

心理学概論（必修）

心理学史・研究法について、通年（2年Aセメスター～3年Sセメスター）で学習します。同じ学科の友人が一同に会する貴重な機会でもあります。

心理学実験演習（必修）

グループに分かれてさまざまな心理実験を実際に行い、卒論に向けて、実験の手順やデータの分析手法、レポートの書き方などを学びます。2年Aセメスターに実験演習Ⅰ、3年次に実験演習Ⅱ～Ⅴを履修します。



時間割例その2（Sさん・2019年度冬学期）

	月	火	水	木	金
1					
2	心理学 特殊講義			創造性の 心理学	電算機応用
3	心理学 特殊講義	心理学演習		社会とダイ バーシティ	心理学実験 演習
4		心理学 特殊講義		心理学特殊 講義	
5		ストレス マネジメント			

心理学演習（必修）

いわゆるゼミと呼ばれる授業です。心理学に関する英語の専門書・論文を1年間かけて輪読します。出席だけでなく、自発的な発言が求められます。

心理学統計・電算機応用

実験データの分析に必要な統計・プログラミングの基礎を学びます。苦手意識を持っている人が多いですが、文系の学生に向けた授業なので心配無用です。

心理学特殊講義

心理学の最先端のテーマを学ぶ授業です。扱う内容は先生の専門分野によって様々です。



Q & A コーナー

Q. 進学選択の点数はどのくらい必要？

A. 例年の底点は 70 点に少し届かないあたり。決して高いハードルではありませんが、定員割れすることはないので希望者全員が入れるわけではないです。

Q. どのくらい忙しい？

A. そこそこ忙しいです。授業はあまり大変ではないですが、授業時間外に実験やレポートをやるなど、課題が多い感じです。しかし、部活・サークルやバイトとの両立は十分に可能です。3 年次に単位を多めにとり、4 年次の授業は週 1 コマ（ゼミだけ）という人もいます。

Q. 文 3 以外から来る人はいるの？

A. 内容が若干理系っぽいこともあって、理系から来る人も毎年 2～3 名ほどいます。また、文 1 や文 2 から来る人も。でも、文 3 出身でなくても不利になることはありません。むしろ理系の人は統計を使う場面などで経験を活かせるでしょう。

Q. 教授は厳しい？

A. 厳しくはありません。お叱りを受けるのは、授業の準備やレポートの提出といった大学生として最低限のことができない場合くらいです。



Q. 雰囲気はどんな感じ？

A. 心理学研究室には「学生控室」というものがあり、学生が自由に使えるパソコン（4台）やプリンタ、心理学・就活関係の本、さらには漫画まで置いてあります。授業の空き時間などに利用できます。

例年は、授業の空き時間には控室でレポートを書いたり、くつろいだりとみんな思い思いに過ごしていました。また、少人数でTAである大学院生に教えてもらう授業もあるので学部学生と大学院生の仲も良いです。

Q. 卒業後の進路は？

A. 毎年数名が大学院へ進学し、多くの学生が就職します。近年の卒業生の就職先としては、金融（例：三菱UFJ銀行、住友生命）、商社（例：三井物産、三菱商事）、インフラ（例：日本郵便、JR東海）、コンサル（例：アクセンチュア、野村総合研究所）等の企業と、多岐にわたっています。

就職活動で心理学が直接役立つことは少ないようですが、WordやExcelを使ってレポートを書いたり、統計やプログラミングを勉強したりするので、入社後に役立つスキルが身に付くと思います。また、面接の時に、心理学に興味を持ってもらえることも多いようです。



Q. 心理学を勉強すると、人の心が読めるようになりますか？

A. なりません。だけど、初対面の人に聞かれたら、「読めます」って答えておくと非常に喜んでもらえるのでオススメです。



興味を持ったら……

(1) 心理学系の授業を受けてみよう！

前期課程にも、実験心理学を扱った授業が開講されています。

- ・ **心理Ⅰ**（人文科学）：知覚・認知心理学の話題を幅広く
- ・ **認知脳科学**（総合 D）：視知覚と脳の働きを深く学ぶ
- ・ **情報認知科学**（総合 D）：記憶、思考などのテーマを扱う
- ・ **基礎統計**（総合 F）：後期の統計で苦労しないために

(2) 心理学に関する本を読んでみよう！

心理学専修の先生が書いた教科書も参考になるかも……

- ・ 村上郁也『**Progress & Application 知覚心理学**』サイエンス社
- ・ 横澤一彦（名誉教授）『**視覚科学**』勁草書房

(3) ガイダンスやオープンハウスで話を聞こう！

やっぱり、実際の先輩・先生に聞きたいことを聞くのが、授業よりも本よりも参考になるはず。進学選択の直前に「あれ、聞いてけばよかった！」とならないよう、チャンスがあったら積極的に飛び込んでいきましょう。お待ちしております！

心理学研究室： shinri@l.u-tokyo.ac.jp



From 心理学専修3、4年生

To 駒場の皆さん



レポートは少し大変ですが、みんなで力を合わせれば、なんてことはないです！！人・ヒトに興味がある方にとっては楽しい学科だと思います！

(3年 T.S.)



人間に興味がある人、実験がしたい人、文理の壁を問わずみんなにおすすめの学科です！本郷でお待ちしております！！

(3年 K.M.)



文系的な「人間」や理系的な「ヒト」を、文理のいいとこ取りな手法で思い思いに扱う学科です！

ご興味あれば是非^^

(3年 M.A)



就活にも強い学科だと思います！最高の仲間たちに囲まれて、楽しい2年間を過ごせました！この学科で本当によかったと思います！！

(4年 T.N.)



※表紙・・・ランダムドットステレオグラム(RDS)。一見ノイズのようにしか見えないが、左右の目でそれぞれ 1 枚ずつ見るように焦点を合わせることで立体が浮かび上がってくる画像。表紙の画像は心理学にとっての永遠の課題、「心」が浮かび上がってきます！